

高齢者の憩いの場 「葛城市いきいきセンター」 リニューアル竣工式

葛城市は1日、同市林堂の老人福祉センター「市いきいきセンター」の老朽化した建物の改修や、指定避難所としての機能強化など大規模改修工事を終えリニューアルオープンを前に、竣工式を開催した。約4億5600万円を投じて改修された施設に訪れた人は、きれいになった各部屋の見学や大部屋で雑談をした後「また利用できるのを楽しみにしていた」と話す風呂に早速浸かっていた。

大規模改修が行われリニューアルオープンした葛城市いきいきセンター



新たな施設の門出を祝いテープカット

昭和55(1980)年に建設された建物は老朽化が進んでいたため、今回の改修工事で長寿命化。加えて災害時に指定避難所として利用できるように、浸水地域に含まれる地域の対策として建物前を以前より高く設計、その分新たにスロープの設置や建物内の段差を

センターは、高齢者の憩いの場所として、健康で明るい生活を営むために必要な各種の相談や健康の増進、教養の向上、レクリエーションのための便宜を図ること目的に設置。市在住の60歳以上であれば、受付で申請すれば施設内の会議室や風呂などを無料で利用することができる。またゼロカーボンシティ宣言による脱炭素への取り組みとして、ひとつのエネルギーから電力や熱など複数のエネルギーを同時に得



新しくなった施設内を見学

避難所機能強化、脱炭素の施設にも

「ガスコージェネレーションシステム」を導入した。改修工事は一般競争入札で藤本建設株式会社(大和郡山市筒井町・藤本正義代表取締役)が落札。工事期間は令和5(2023)年6月29日から今年3月21日まで。請負金額は4億5636万300円だった。竣工式で阿古和彦市長は「災害に強い、また脱炭素の施設として整備させていただきました。高齢者の皆さまに使っていただく施設ですが、災害時には指定の避難所として利用いたします。7月からは健康のことを考えた運動講座を新たに設定し、地域の皆さまにさらに愛着を持って、長く使っていただける施設になれば」とあいさつした。



竣工式であいさつする阿古市長



利用できる部屋の中には和室も用意されている



建物前に設置されたガスコージェネレーションシステムなど



囲碁などができる娯楽室周辺



施設内にはマッサージ機も置かれている



外の景色を眺めながらゆっくり囲碁や将棋もできる